

平成20年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

プログラム名	女性の再チャレンジ支援プログラム		
事業名	子育て美容師の再就職支援推進事業		
法人名	学校法人 新潟総合学院		
学校名	国際ビューティモード専門学校		
代表者	理事長 渡辺 敏彦	担当者 連絡先	金川 盛一 TEL 025-240-8338
<p>1. 事業の概要</p> <p>○出産、子育てなどで一時職を離れた女性美容師に対し、カット、パーマ、ヘアカラーなどの「技術指導」と共に、キャリアカウンセリングを基本とした「就職指導」を施し、美容師としての再就職を支援するための講座を運営する。</p> <p>○必須技術講座・・・「カット」(30h)</p> <p>○希望技術講座・・・「パーマ」(12h)、「ヘアカラー」(12h)、「メイクアップ」(24h)、「ネイル」(24h)</p> <p>○必須就職講座・・・「キャリアカウンセリング」(24h)</p>			
<p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>○育児などで職を離れた女性美容師の再就職支援を目的とした事業であるが、全講座を履修し証明書を発行した2名の受講生のうち、実施期間内での再就職は1名に留まったが、残りの1名も現在就職活動中である。よって募集状況、講座実施日程などには再検討の必要があるものの、講座内容及び再就職に向けたサポートしては一定の成果を見ることができた。</p> <p>○問合せ時のヒアリング、受講者アンケートの結果から、講座目的、内容に対する期待度と満足度は高く、事業内容の方向性については一定の成果を認めることができた。</p> <p>○受講生募集については、事業の受託決定から公募までの期間が短かったことと、広報にかけ予算が組めなかったため、講座受講者は定員20名のところ問い合わせが7名、そのうち全講座修了者が2名という状況で受講者募集方法に課題を残した。</p> <p>○一部の講座を希望制にしたため、希望者のいない講座が発生し、その結果、予算に対しての実績に差異が生じてしまった。</p> <p>○予定より受講生が大幅に少なく、当初予定していた外部講師(キャリアカウンセリング)の対応が困難になり、内部の講師で対応するなど予算と実績に差異が生じる結果となった。</p> <p>○講師の都合でスケジュールや講座カリキュラムが一部変更となり、結果的には交通費などで節約となった。</p>			

- 一部教材(カットウィッグ)については、講師との打ち合わせのなかで、当初予定していた教材を異なるものを購入する事となり予算との差異が生じる結果となった。(単価の削減)
- 全般的に受講者募集に予算をかけられなかった事が、受講希望者への告知不足につながったと考えられる。そのため講座の実施や事業の運営に影響し、予算策定時の見積もりや計画を変更せざる得なくなってしまった。
- 計画については事業の受託決定から公募までの期間が短く、また募集要項などの作成を先行させたため、予算計画と実績に大きな隔たりが出る結果となってしまった。

②事業により得られた成果

- 業界の人材不足が顕著になる中、新たな「市場開拓」の検証
- 再就職に必要な技術内容、レベルの検証と「教育プログラム」の開発
- 再就職指導としての「キャリアカウンセリングシステム」の開発
- 専門学校を活用した「一般向けの生涯学習、人材育成」に必要な産学連携関係の構築
- 現状有する新卒の就職市場のほか、卒業者向けの「中途採用市場」の開拓

③今後の活用

- 今回の事業実施の経験と情報を活かし、深刻化する美容業界の人材不足解消にむけ、専門学校が得意とする「技術指導」と「就職支援」という分野で、若年層以外の再就職支援を「生涯学習講座」として企画し、新たな人材市場の開拓に貢献する

④次年度以降における課題・展開

- 受講生募集に向けた広報手段が一つの課題である。予算が見込めない中では、特に子育て中で、家庭内に留まっている対象者に向けた広報手段として、新聞、TVCMなどのマスメディア以外での有効な広報媒体、手段を研究開発する必要がある。
- また、受講生の経歴、レベル、ブランクなどに合わせたきめ細かい講座設定、受講しやすい受講時間、日程の再検討も必要である。
- 次年度以降の展開としては、講座内容や日程を再構築し、受講生を増やしつつ、再就職実現に向けた再就職システムの構築を模索する。

3. 事業の実施に関する項目

①履修証明書等

- 学校教育法上の履修証明書の発行はなし
- 講座独自の履修証明書を発行 発行数2名
対象者
必須技術講座「カット」・・・30h、必須就職講座「キャリアカウンセリング」・・・24h、計54h修了者
- ジョブ・カード制度への対応はなし

②カリキュラムの内容

○テーマは女性美容師の現場復帰支援で、少子化、大学全入など年々美容師を希望する若者が減少するなか、業界においては慢性的な人手不足に悩まされている。そこで、出産や育児などで一旦は現場を離れたものの、現場復帰を考えている元美容師を再就職させるためのプログラムを構築した。対象者は美容師の資格を有する女性の元美容師。手法としては、ブランクを埋め、即戦力として復帰できるようにするための「技術指導」と、再就職をサポートするための「就職指導」を組み合わせカリキュラムを構築した。ブランクによる技術力の低下を改善し、現場感覚を取り戻すことで「即戦力」としてのアピールができ、再就職に有利となる。

③講座の実施

○現場復帰を支援するための「技術指導」と就職活動をサポートする「就職指導」を4ヶ月間に渡り実施、受講生は30歳代から40歳代までの元美容師(有資格者)で現在は専業主婦やパート勤務などだが、美容師としての現場復帰を目指す女性たちである。

④支援対象者(受講者)の状況

○事業実施期間内で1名が再就職を実現し、残りの受講生のうち1名が現在就職活動中である。家庭の事情で雇用時間、勤務地などの制約があるため本人の希望に合致した求人先が少なく、受験先の決定に時間を要するようである。今後も中途採用情報などを提供しつつ、再就職までのフォローを継続する。